

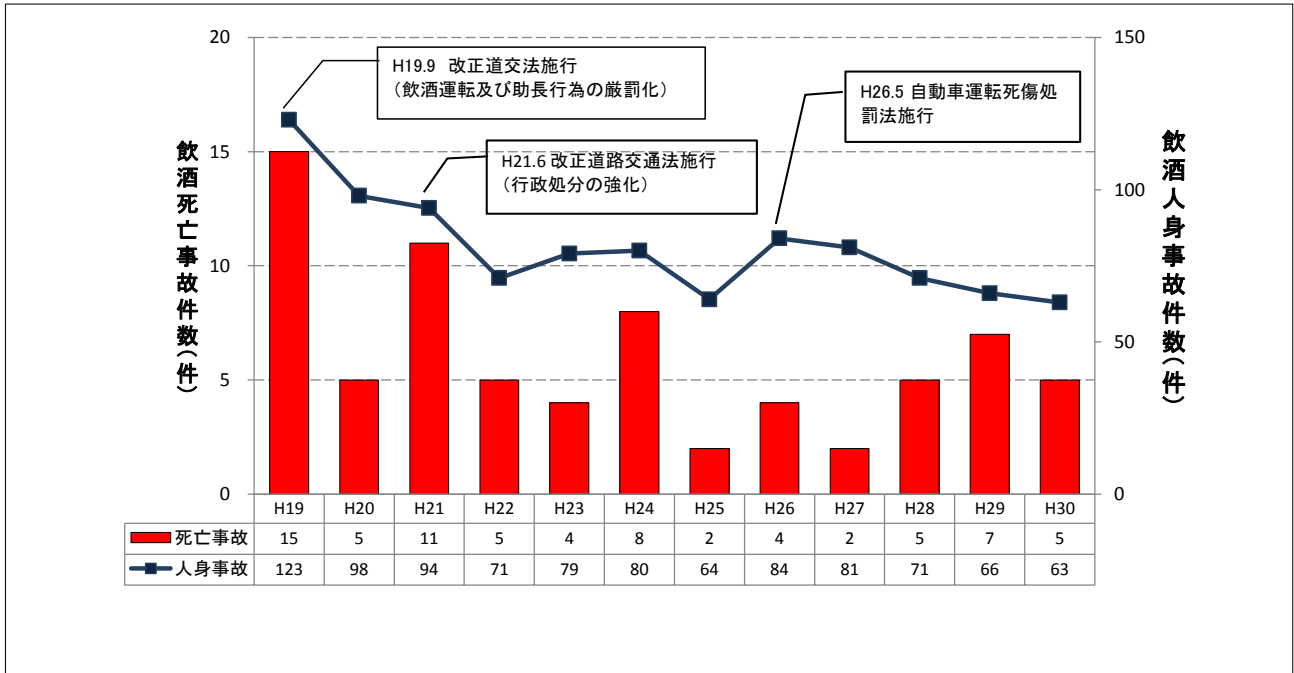
飲酒運転による交通死亡事故分析(5年間・平成26～30年)

1 飲酒関係事故の推移(死亡事故)

(1) 飲酒運転事故の推移

飲酒関係の死亡事故はH14年の道路交通法改正後に減少傾向にあり、H19年には15件の発生があったもののH30には5件の発生となり、H19年当時と比較すると昨年は3分の1にまで減少したものの、未だ飲酒運転の根絶には至っていない。

○ 飲酒運転による交通死亡事故の推移

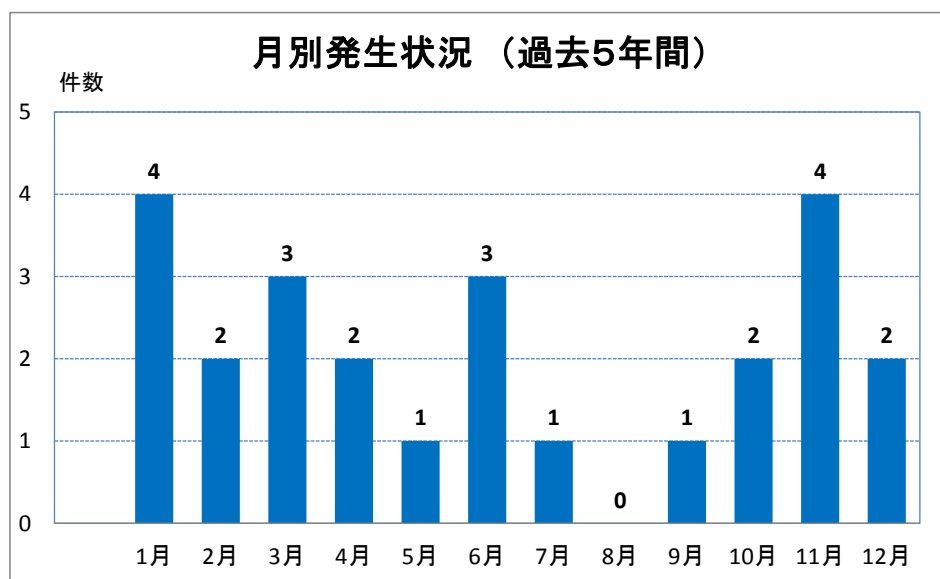


注1: 飲酒運転事故件数は、原付以上の第1当事者による事故件数をいう。(以下同じ) 2: 死亡事故件数は、人身事故件数の内数。

2 過去5年間の飲酒運転事故

(1) 飲酒運転事故の月別発生状況

過去5年間の月別発生状況をみると、飲酒の機会の多い年末年始や歓送迎会のシーズンにおける発生が目立つ。

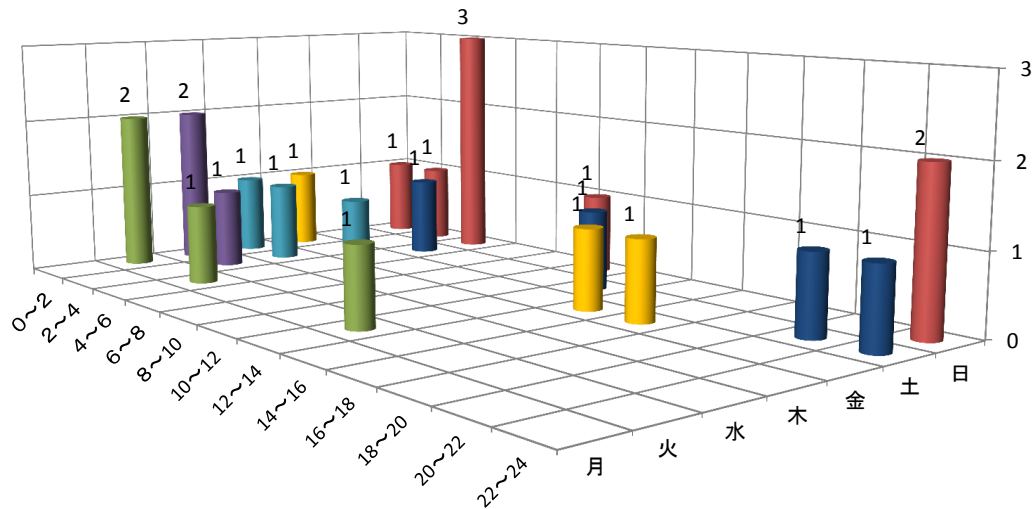


(2) 曜日・時間別死亡発生状況

時間別では、20時から翌朝8時までの間に全体の8割が発生している。

曜日別では、土曜・日曜をあわせて5割近くを占めていることから週末の発生が多く、土曜の夜間から日曜の朝にかけての発生が約3割を占め目立つ。また、全体的に午前0時から午前4時の発生が多い。

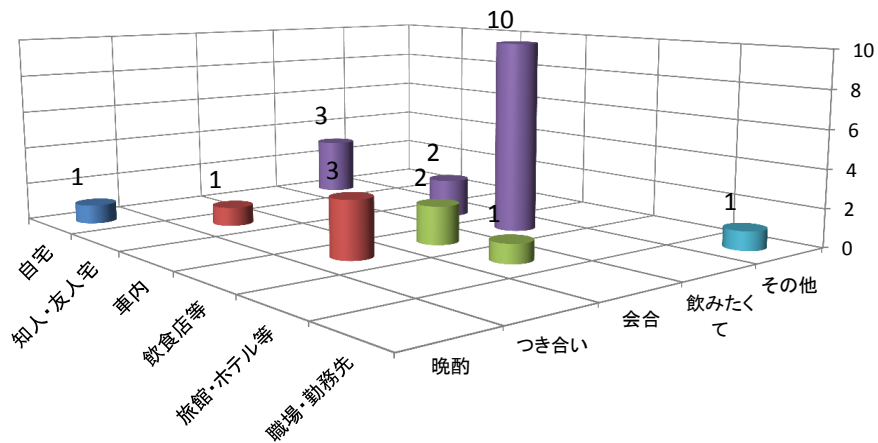
時間/曜日	日	月	火	水	木	金	土	合計	構成率
0~4	2	0	2	3	2	1	0	10	40.0%
4~8	3	0	1	0	1	0	1	6	24.0%
8~12	1	0	0	0	0	0	0	1	4.0%
12~16	0	0	1	0	0	1	1	3	12.0%
16~20	0	0	0	0	0	1	0	1	4.0%
20~24	2	0	0	0	0	0	2	4	16.0%
合計	8	0	4	3	3	3	4	25	100.0%
	32.0%	0.0%	16.0%	12.0%	12.0%	12.0%	16.0%	100.0%	-



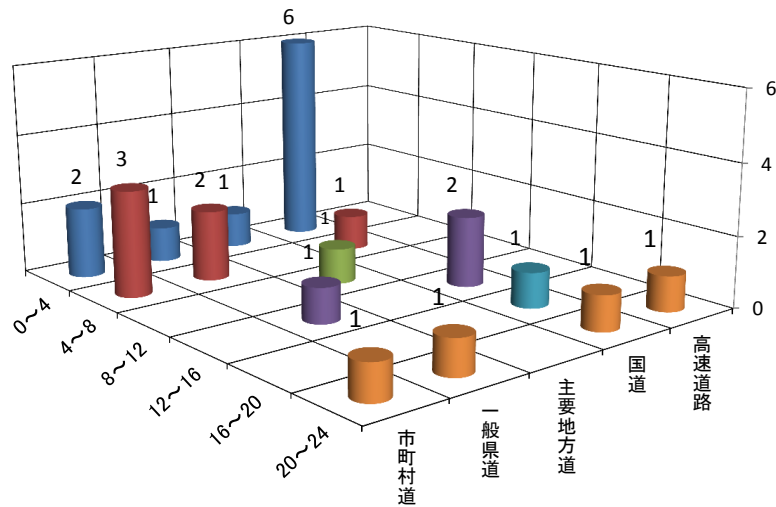
(3) 飲酒場所と飲酒動機

死亡事故を起こした飲酒運転当事者の飲酒の動機・飲酒場所をみると、飲酒場所では飲食店等が6割を占めている。また、飲酒の動機では「飲みたくて」が6割強を占めている。

動機/場所	自宅	知人・友人宅	職場・勤務先	飲食店等	旅館・ホテル等	車内	その他	合計	構成率
晩酌	1							1	4.0%
つき合い		1		3				4	16.0%
会合				2	1			3	12.0%
飲みたくて	3			10		2	1	16	64.0%
その他			1					1	4.0%
合計	4	1	1	15	1	2	1	25	100.0%
	16.0%	4.0%	4.0%	60.0%	4.0%	8.0%	4.0%	100.0%	-

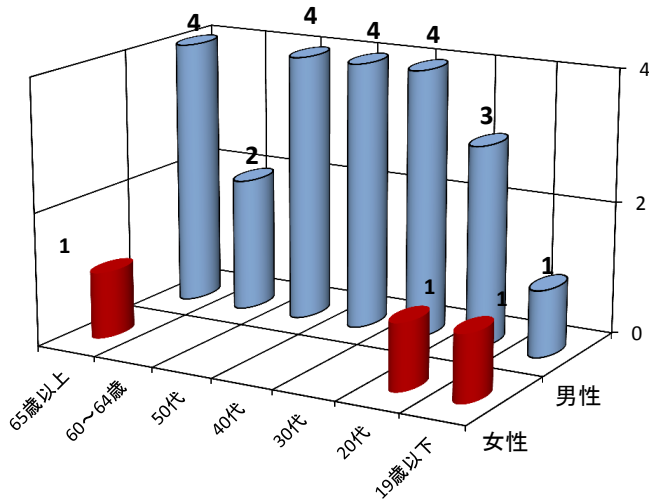


(4) 時間帯・路線別発生件数

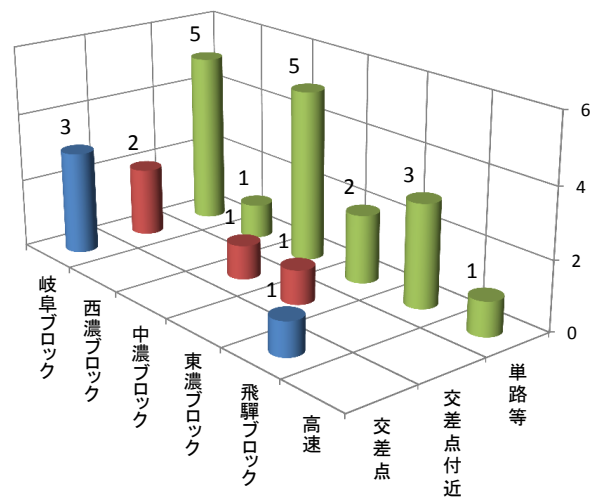


国道での発生が11件で全件数(25件)の4割強を占めており、特に午前0時から午前4時の発生が6件と目立つ。

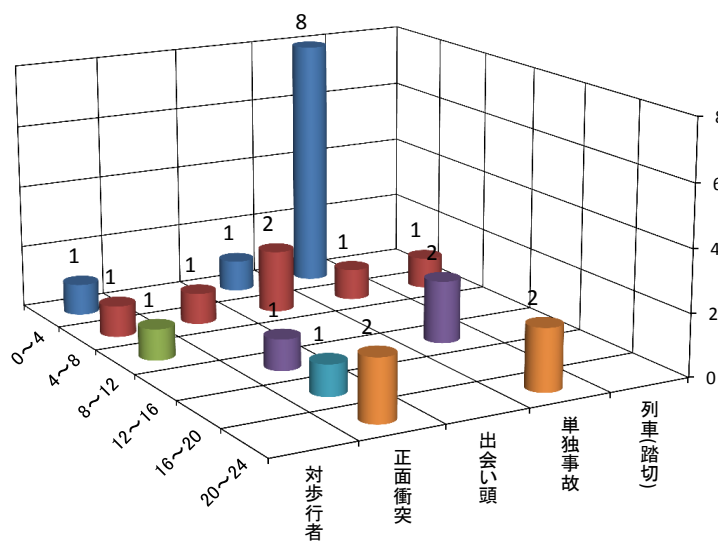
(5) 男女・年齢層別人数



(6) ブロック・道路形状別発生件数



(7) 時間帯・事故類型別発生件数



単独事故の発生が13件で全件数(25件)の5割強を占めており、特に午前0時から午前4時の発生が8件と目立つ。